

## 「マルチステークホルダー方針」

当社は、企業経営において、株主にとどまらず、従業員、取引先、顧客、債権者、地域社会をはじめとする多様なステークホルダーとの価値協創が重要となっていることを踏まえ、マルチステークホルダーとの適切な協働に取り組んでまいります。私たちは「潜在能力をプロへと開花させる『成長体験』を、すべての人へ。」をミッションに掲げ、「人×テクノロジー」の力で次世代の社会インフラを支える人材を輩出することを存在意義としています。これらの理念のもと、価値協創や生産性向上によって生み出された収益・成果を、マルチステークホルダーへ適切に分配することが、賃金引上げのモメンタムの維持や経済の持続的発展につながるとの考えから、従業員への還元や取引先への配慮が重要であることを踏まえ、以下の取組を進めてまいります。

### 記

#### 1. 従業員への還元

当社は、経営資源の成長分野への重点投入、従業員の能力開発やスキル向上・キャリア支援等を通じて、持続的な成長と生産性向上、エンゲージメント向上に取り組み、付加価値の最大化に注力します。その上で、「賃金決定の大原則」にのっとり、自社の状況を踏まえた適切な方法による賃金の引上げを行うとともに、教育訓練等を中心に積極的に取り組むことを通じて、従業員への持続的な還元を目指します。

(個別項目)

具体的には

- ・ 成長と公正を両立する報酬運用  
賃金の引き上げについて、役割・成果に公正に報いる運用を基本に、ベース給与・賞与・手当の総合設計を継続的に改善します。
- ・ 育成投資の強化（ゼロプロ成長サイクル）  
教育訓練等について、未経験からプロへ段階的に成長する「ゼロプロ成長サイクル」を全社推進し、対面／オンライン／オンデマンドの学習機会を拡充。社内対策講座の合格実績・合格率のモニタリングと連動させ、育成PDCAを回します。
- ・ キャリア可視化と資格取得支援  
国家資格合格実績の社内共有、評価・配属・教育の連携を強化し、スキル・市場価値・顧客評価の向上を通じたキャリアアップと処遇改善に接続します。
- ・ 働きやすさと成長実感の両立  
若手の実感（“手に職”“知的な面白さ”“成果の可視化”）を踏まえ、「すぐ聞ける・相談できる」体制や心理的安全性を重視した現場サポートを継続します。

#### 2. 取引先への配慮

当社はパートナーシップ構築宣言の内容遵守に、引き続き、取り組んでまいります。

なお、パートナーシップ構築宣言のポータルサイトへの掲載が取りやめとなった場合、マルチステークホルダー方針の公表を自主的に取り下げます。

- ・ パートナーシップ構築宣言のURL

【<https://www.biz-partnership.jp/declaration/127385-19-00-tokyo.pdf>】

また、消費税の免税事業者との取引関係についても、政府が公表する免税事業者及びその取引先のインボイス制度への対応に関する考え方等を参照し、適切な関係の構築に取り組んでまいります。

### **3. その他のステークホルダーに関する取組**

- ・ 顧客・社会：建設業の「3K」イメージの刷新に資する人材育成・情報発信を行い、社会インフラを支えるプロ人材を継続的に輩出します（“3S：支え合える／スキルが身につく／将来性がある”の実現）。
- ・ 地域社会：全国拠点（北海道・宮城・東京・愛知・大阪・福岡）を基点に、雇用創出・地域連携を含む実務支援を推進します。

これらの項目について、取組状況の確認を行いつつ、着実な取組を進めてまいります。

以上

2025年10月31日

(2026年1月29日 代表者変更による更新)

株式会社ワールドコーポレーション

法人の名称

代表取締役 柴田 直樹

代表者の役職及び氏名